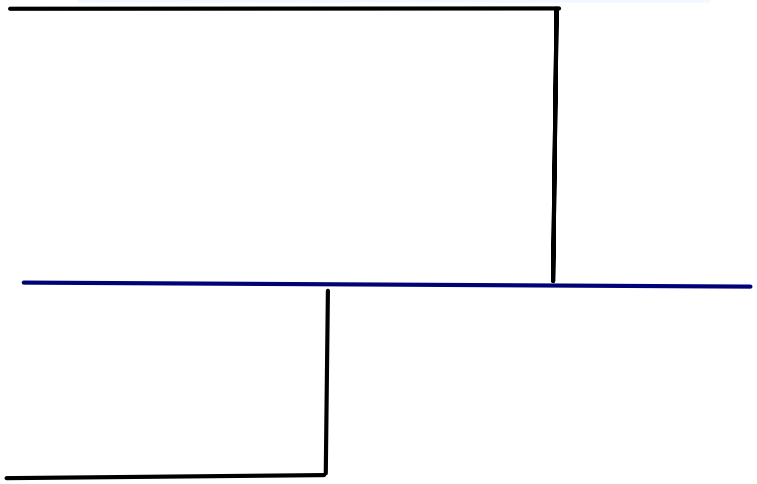
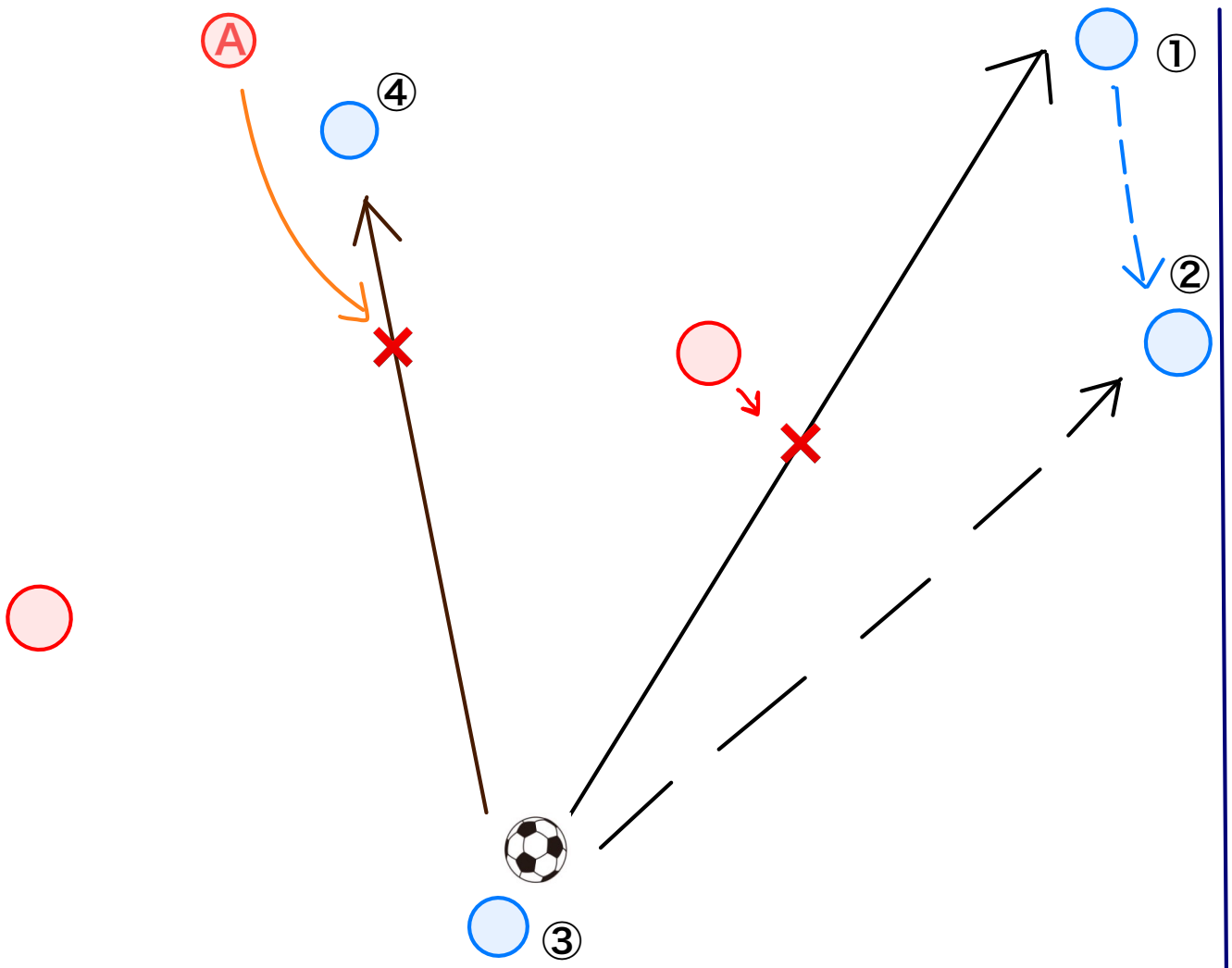
①の選手は少しでも前でボールを貰いたいという思いからできるだけ前に出てパスコースを作ろうとしてくれていました。
でも③の選手の思いとしてははっきりとパスコースが作れていないため、『ミスしたら取られそう』という思いが出てしまいなかなかチャレンジできません。
それに気づき、または伝えて②のポジションをとってくれることで③の選手はすごく出しやすくなりました。






④の選手へのパスコースも見つけられるようになり、パスが出せるようになりましたが、④の選手が自分のところまでパスが転がってくるのを待ってしまうのでAの選手にインターセプトをされるシーンが多くありました。コートの中央や相手のゴール前でも同じことが起こり、シュートのチャンスが潰されていました。